



Data

監督・脚本: ブラディ・コーベット
 出演: ナタリー・ポートマン/ラフィー・キャシディ/ジュード・ロウ/ステイシー・マーティン/ジュニファー・リー/マリア・ディッツィア/クリストファー・アボット/メグ・ギブソン/ダニエル・ロンドン/マイケル・リチャードソン/マット・セルヴィット/レスリー・シルヴァ

■■ショートコメント■■

◆第91回アカデミー賞では『ボヘミアン・ラプソディ』（18年）（『シネマ 43』38頁）でラミ・マレックが主演男優賞を、『アリー スター誕生』（18年）（『シネマ 43』40頁）でレディ・ガガが主演女優賞を受賞し、「伝記モノ」の音楽映画の攻勢が目立った。本作は「その夢をもう1度」の狙いで、ナタリー・ポートマンをセレステ・モンゴメリー役に起用した。しかし、私は、『アリー スター誕生』の歌手レディ・ガガの名前は知っている、寡聞にして若くして富と名声を手にしたポップスター、セレステ・モンゴメリーの名前も曲も全然知らなかった。

ナタリー・ポートマンがアカデミー賞主演女優賞を受賞した『ブラック・スワン』（10年）（『シネマ 26』22頁）はオリジナリティに溢れた脚本がすばらしかったが、本作は「伝記モノ」だから、いくら私の大好きなナタリー・ポートマンが主演してもあまり興味なし。そう思っていたが、ウィキペディアで「ヴェネツィアでのプレミア上映後に出てきたレビューは本作に好意的なものが多く、特にポートマンの演技は高く評価された。」と書かれていたため、鑑賞。

◆冒頭、セレステ（ナタリー・ポートマン）と姉のエレノア（ステイシー・マーティン）が通う学校で起きた同級生の男の子による銃乱射事件が描かれるが、これってナニ？また、そこでのセレステの動きはかなり変だ。しかし、皮肉にも2人で作った犠牲者への追悼曲が注目され、姉妹は一気に人気歌手になったが、さてその後は？歌手にはいわゆ「一発屋」も多いが、この姉妹2人組の実力は？

◆本作には、セレステの敏腕マネージャー役として名優ジュード・ロウが出演しているが、

残念ながら本作では彼の存在感は全く発揮されていない。若くして人気が沸騰し、栄華を極めたセレステだったが、31歳となった今は、スキャンダルとゴシップの中でアルコールと薬物の絶えない生活を送っていた。このままではポップスターとしての活動休止？そんな中、彼女が高校生の時に体験したのと同じような恐怖の事件が発生。これは一体ナニ？そんな状況下、セレステは一世一代のステージで、満足なパフォーマンスを見せられるのだろうか？

◆本作には『アリー スター誕生』の音楽監督が参加した他、大ヒット曲「Chandelier」で知られる世界的アーティスト、Sia が手掛ける楽曲をナタリー・ポートマンが歌い上げている。したがって、そんな情報に詳しい音楽通、ポップ通の人は必見だろうが、残念ながらそれを知らない私にはすべてイマイチ……。

2020（令和2）年6月18日記